

# 汎用抽選システム UTO SOFT 2015 の抽選について

## シングルス・ダブルス

### 1. 基本方針について

- ①ベスト16に入るまでは同一校対戦はない。
- ②校内ランキング上位8人は8分割、上位4人は4分割、上位2人は2分割に割り振る。ただし、校内3位と4位は同等とするので、準決勝で校内1位と3位の対戦はあり得る。校内5位から8位も同様である。
- ③シード選手はシード順位を優先するので準決勝で校内1位と2位が対戦することもあり得る。例えば、ある学校にシード選手が3人在籍しており、シード順位1位・5位・6位であった場合、校内1位（シード1位）と校内2位（シード5位）が準決勝で対戦する可能性はある。

### 2. 逆ゾーンへの割り振りについて

- ①逆ゾーンとは、シード選手とベスト16に入るまでは対戦しないゾーンをいう。
- ②出場数が2人以上の学校で、シード選手が在籍しない学校の校内1位及びシード選手が在籍する学校のシード選手の次の校内ランキングの選手は、逆ゾーンに必ず割り振る。1人出場校の選手については、ランダムに選ばれた半数弱の選手を逆ゾーンに必ず割り振る。
- ③各学校間において、逆ゾーンへの割り振り数の極端な不均衡がないようにする。

### 3. パッキンへの割り振りについて

- ①パッキンとはシード選手の直近の位置を指し、シード選手の1回戦がある場合は直近の1か所、1回戦がない場合は直近の2か所をいう。
- ②パッキンには、原則として各校の最下位のみを割り振る。ただし、出場数が少ない場合は同一校から複数の選手を割り振る場合もある。ただし、同一校からパッキンに2人入らざるを得ない場合でも、少なくとも1人は5位以下のシードのパッキンに割り振る。

### 4. 準シード選手の扱いについて

- ①準シード選手とは県高校総体のシングルの部においてのみ置くことがあり、1年生を対象として、中学校時代に別に定めた成績を収めた選手をいう。
- ②準シード選手への対応を最大4人まで行う。準シード選手に関しては、パッキンの配慮は行わない。即ち、初戦から他校の校内1位と対戦することもあり得る。
- ③準シード選手の組むダブルスペアが校内1位となり、同校のシードペアと対戦がある場合、協議を行いシングルの部と同様の方法をとることがある。（令和2年11月追加）

### 5. 申し込みについて

- ①名簿は必ず校内ランキング順に作ること。
- ②シード選手は、その学校のランキングのより上位にシード順に置くこと。
- ③準シード選手の校内ランキングについては、シード選手の次に置くが、シード順位ではなく準シード委員会が決定したランキングに従い、上位4人は4分割、上位8人は8分割の原則を守るように並べること。例えば、校内に3人のシード選手（1位・5位・7位）がいて、更に2人の準シード選手がいる場合、校内4位の準シード選手が11位、校内5位の準シード選手が9位となり、校内順位と準シード順位は逆転するが、校内順位を優先して名簿を作る。